

鶺の木地区地域情報紙 第98号

さんぽみち



発行：地域力推進鶺の木地区委員会
編集：鶺の木地区 地域情報紙編集委員会
事務局：鶺の木特別出張所
電話 (3750)4241 FAX (3750)2418

鶺の木特別出張所管内の人口
(令和元年6月1日現在)

男	12,246人
女	13,609人
計	25,855人
世帯数	14,169世帯

第31回 全国鶺の木まつり

***** 主なイベント *****



7月17日(水)~21日(日)

20日(土) イベント開催(15:00~) 21日(日) 朝市(9:00~11:00)

主催：鶺の木商店連合会
後援：大田区

※ ポスターのある商店(約60店)で7月17日~7月21日に買い物をするると三角クジがもらえます。
外れは当日のイベント券として利用できます。
※ イベント券は当日の販売もあります。
(地図の★印で)

全国各地にある「うのき」のまちと特産品



平成元年、鶺の木銀嶺商店会会長(故稲名清和氏)の発案で始まったイベントが地域の皆様のお陰で大きなおまつりになりました。昨年には、なまはげがユネスコ無形文化遺産に登録され、ますます鶺の木まつりも盛りあがることと思います。始めの頃は、子供だったお父さん、お母さんも今では家族で楽しんでいます。私共の商店街と地元のお客様が育てたおまつりです。そして令和になった今年も又その一ページを開きます。

鶺の木銀嶺商店会 会長 近藤 好秀

着任の挨拶

大田区立大森第七中学校 校長 増元 啓彰



4月1日付けで着任いたしました。よろしくお願いいたします。よろしくお願ひいたします。平成23年度から28年度までの6年間、副校長として勤めていた七中に校長として戻ることができて幸せを感じています。鶺の木地区の皆様にはその時からたくさんのお世話になっていました。改築中でもありますので、これからも皆さんの御協力をいただきます。学校運営にあたってまいります。よろしくお願ひいたします。

「出会いを大切に」

大田区立嶺町小学校 校長 細田 真司



この度、大田区立嶺町小学校へ着任いたしました。細田真司でございます。人懐っこい子供たち、人情味あふれる地域・保護者の皆様、熱心な教職員に囲まれ、本校に着任した喜びを感じているところでございます。この出会いを大切に、未来を見据えた教育活動を展開してまいります。引き続き、本校への熱いご支援を賜りますようお願い申し上げます。

町会長リレーエッセイ

新元号「令和」

鶺の木東町会 会長 川合 勇夫

「平成最後の」という言葉を耳にすることが増え、平成の名残惜しさを感じつつ、どんな元号になるのか楽しみにしていた四月一日に、新元号が「令和」と発表されました。令和元年、新しい時代の始まりです。私事ですがこの地に開業したのは昭和46年6月でした。昭和・平成・令和と変わる中、個人商店の宿命か、我々の洋品業界も高齢化と後継者難から廃業が増えています。その中で幸いにも今まで夫婦共に、健康に感謝し営業

表彰

町会長退任感謝状受賞者

・岩間 勇治

町会連合会永年在職者感謝状受賞者

- ・終 光弘 根本 哲也 (鶺の木二丁目)
- ・小林 孝男 鳥谷 容子 (鶺の木西)
- ・岡田 八州江 鳥海 美香 三井 朝子 (鶺の木二丁目)
- ・岩間 裕子 橋本 章 (鶺の木三丁目)
- ・松井 清子 井上 純一 (千鳥南)
- ・飯田 順子 永野 安津子 (南久が原一丁目)



させて頂いております。新しい次代を担う3人の孫の成長を願って、身体が続く限り頑張っ前進あるのみ！町会長としても高齢者に「改元を口実にした詐欺に注意！」「アポ電に注意！」これらの言葉を頭において感わされずに「自分達の町は自分達で守っていきましょう！」と発信していきます。

編集委員紹介

今年度の「さんぽみち」の編集委員です。よろしくお願ひします。

- 高梨絃子・岡本信夫・鳥谷容子・村松茂・加藤多津美・鳥海美香・岩田久美子・田中克美・井上純一・鈴木伸子・澤田益一・菅野健一・野口伸雄・向山和美

(事務局) 森田治樹所長

大橋洋文副所長

水谷麻衣

編集後記

今号には、定番の全国鶺の木まつりの記事、小学校の夏休みイベント、それに工事中の七中の現状を載せました。新たに就任された方々の抱負に加え、鶺の木出身のまんが家、植田まさし氏に、鶺の木地区での少年時代の思い出をお願ひしました。

令和という新時代の始まり、どんな時代となるのか、楽しみです。ね。

編集長 野口 伸雄



就任の挨拶

大森第七中学校

大森第七中学校PTA会長 益子 昌也
PTA会長 益子 昌也
大森第七中学校PTA会長の益子と申します。中学校生活の3年間は、ボランティア活動や職業体験を通して地域の一員になるための大切な期間です。在学生徒は2022年から成人年齢が18歳になる最初の世代でもあります。PTAは引き続き、新しい時代の子供たちの成長と自立をサポートしていきます。地域の皆様におかれましては暖かく見守っていただければ幸いです。

東調布第三小学校

PTA会長 林 剛一
今年度よりPTA会長に就任いたしました。林と申します。私は地元育ちではありませんが、曾祖父の代から縁のある地域で、たくさんの子供たちと関わられることを嬉しく思っています。子供たちが楽しく、実りのある小学校生活を送ることができまますよう、地域の皆様にも御支援いただきながら、頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

嶺町小学校

PTO団長 昼馬 みすず
今年度、嶺町小学校PTO団長の昼馬と申します。嶺町小学校は昨年度開校70周年を迎えました。今後ますます地域に愛される小学校になるよう、保護者みなで力を合わせて、子供たちの通う学校を応援したいと思っています。また、子供たちが安心安全な学校生活を送るためには、地域の皆様のお力が欠かせません。今年度も、何卒よろしくお願申し上げます。

千鳥小学校

PTA会長 岡田 陽典
本年度PTA会長を務めさせていただきますことになりました。岡田でございます。この度、会長という大役を仰せつかり、責任の重さを感じております。子供たちが毎日、元気に安心して学校生活を過ごせる様、PTA活動を進めていきます。役員、保護者の皆様、教職員、そして地域の皆様、どうぞ一年間よろしくお願いたします。

*予定です

夏休みのイベント

千鳥小学校

ぐんぐん・すいすいスクール

図書館開放 7月23日～
ぐんぐんスクールは漢字や計算の復習等、すいすいスクールは水泳の特別指導をします。図書館は日程を決めて解放します。



夏休み子どもまつり

7月27日
青少対やPTA、2・6会、同窓会の方々、地域の商店等のご協力により、模擬店や昔遊びコーナー、クイズやゲームコーナー、抽選会など楽しい企画が盛りだくさんです。

嶺町小学校

水泳教室

7月23日～8月5日
8月20日～8月27日
夏季休業中の水泳の学習です。検定を目指して、楽しく学習します。この夏の目標を決めて参加してほしいと思います。



夏のキラキラスクール

7月22日～7月31日
地域の方が先生になって、工作やダンス等、様々な楽しい活動を用意して待っています。

東調布第三小学校

サマースクール

7月22日～26日
7月29日～8月2日
8月19日～22日
学校支援地域本部「わくわく応援団」が地域や保護者の方々の応援を得て、色々な講座を開きます。

避難所体験

8月24日～25日
第三いきいき活動の皆さんが中心となり、異学年でグループを組み、防災館の見学や避難所となる体育館に一泊する等様々な防災体験をします。

夏休み子供会

7月27日
青少対やPTAの方々工夫を凝らし、子どもたちが楽しめるコーナーを用意します。

行事予定

日程は予定です。詳しくは各町会掲示板などでご確認ください。



【全国鶴の木まつり】
7月17日～21日(鶴の木駅周辺商店街)

【ラジオ体操】
7月21日～7月27日(南久が原児童公園)
7月22日～7月26日

8月26日～8月30日(多摩川河川敷)
※7月23日のみ東京高校体育館

7月22日～7月26日(鶴の木松山公園)
7月23日～7月28日(つきやま公園)

7月25日～7月31日(千鳥いこい公園)

【盆踊り】
7月24日・25日(鶴の木三丁目中央公園)
8月17日・18日(鶴の木八幡神社)

8月17日・18日(ちどりみなみ児童公園)
8月21日・22日(鶴の木銀嶺商店街)

8月24日・25日(千鳥町お祭り広場)

【お祭り】
8月24日・25日(千鳥町お祭り広場)
9月7日・8日(鶴の木八幡神社)

9月21日・22日(鶴の木二丁目三丁目)
10月12日(南久が原児童公園)

鶴の木地区連合運動会
10月6日(東調布第三小学校)
※昨年と場所が異なりますので「」注意ください



ただいま「改築中」

大森第七中学校



平成31年4月 生徒歩道橋から東側を望む

下校庭の整備と続きます。近隣の皆様にはまだご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

校舎改築は、平成27年度から構想が始まりました。地域とのかわり、教育方針、七中の伝統などを確認すること。下校庭と呼んでいた校地に新校舎を建てるか、仮設校舎を建てるかということ。工期をはじめ、校舎の床面積や体育館、プールのことなど検討しなければならぬことがたくさんありました。結局現在のようになり、既存の校舎を解体し新しい校舎を建てることになりました。現在は、昨年9月引越した仮設校舎で学校生活を送っています。体育館・プールは今までのまま使用します。旧校舎は写真のようにすべて解体され、この後は、新校舎の基礎工事が始まります。完成・引越は、令和3年3月の予定です。続いて、体育館・プールの解体と特別教室のための二期工事、仮設校舎の解体と下校庭の整備と続きます。近隣の皆様にはまだご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

この人も、鶴の木地区出身です

懐かしい鶴の木

漫画家 植田まさし

私は世田谷区の奥沢で生まれ、小学五年の春、鶴の木に引っ越してきました。東調布第三小学校に編入した後、大森七中から田園調布高校に進み高一まで、人生で一番多感な時期をこの地で過ごしました。そのころの私は運動が好きで子供で、中学校では野球、高校ではラグビー、漫画家になろうなどは夢にも思っておらず、小学六年のころに創刊された漫画誌の少年サンデーや少年マガジンも友達の家や理髪店に行ったときにパラパラめくるくらいでした。



植田まさし

私たちが団塊世代はとにかく人数が多く、中学校での一学年だけでも七七〇余名、十五クラスあり、朝の通学路には生徒がうじゃうじゃあふれていて、今では信じられないような光景でした。休みの日には近くの松山(現松山公園)に行ったり、足を延ばして多摩川土手に行ったり、自転車で池上本門寺、蒲田、五反田とどこまでも遠征していました。また鶴の木の駅と久が原の駅の近くには、それぞれ映画館があり、ほんとによく見に行ったもので、その後の漫画を描く上で大役役に立っているように思います。そして忘れられないのがこの七年間で出会った人たち。学校の同級生、部活の仲間、先生、ちょっと好きだった女の子、地域の人々、次々と顔が浮かんできます。日本の高度成長期の真ただ中、鶴の木は私が大人になっていく出発点でした。

4コマまんが、コボちゃん、読売新聞に1982年4月1日から連載中。2019年4月1日で37周年。コボちゃんは、幼少時の自分自身がモデルとも言われる。

※転用禁止